

日本版N C A A創設に向けた学産官連携協議会 安全安心ワーキンググループ発表資料



体育活動中における事故の傾向について ー日本スポーツ振興センター災害共済給付データよりー

平成29年10月11日

独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部

日本スポーツ振興センター ～業務の紹介～

toto・スポーツ
振興基金と助成事業



国立登山研修所



秩父宮記念スポーツ
博物館・図書館



味の素ナショナル
トレーニングセンター



学 校 安 全 部



新国立競技場



秩父宮ラグビー場



国立代々木競技場



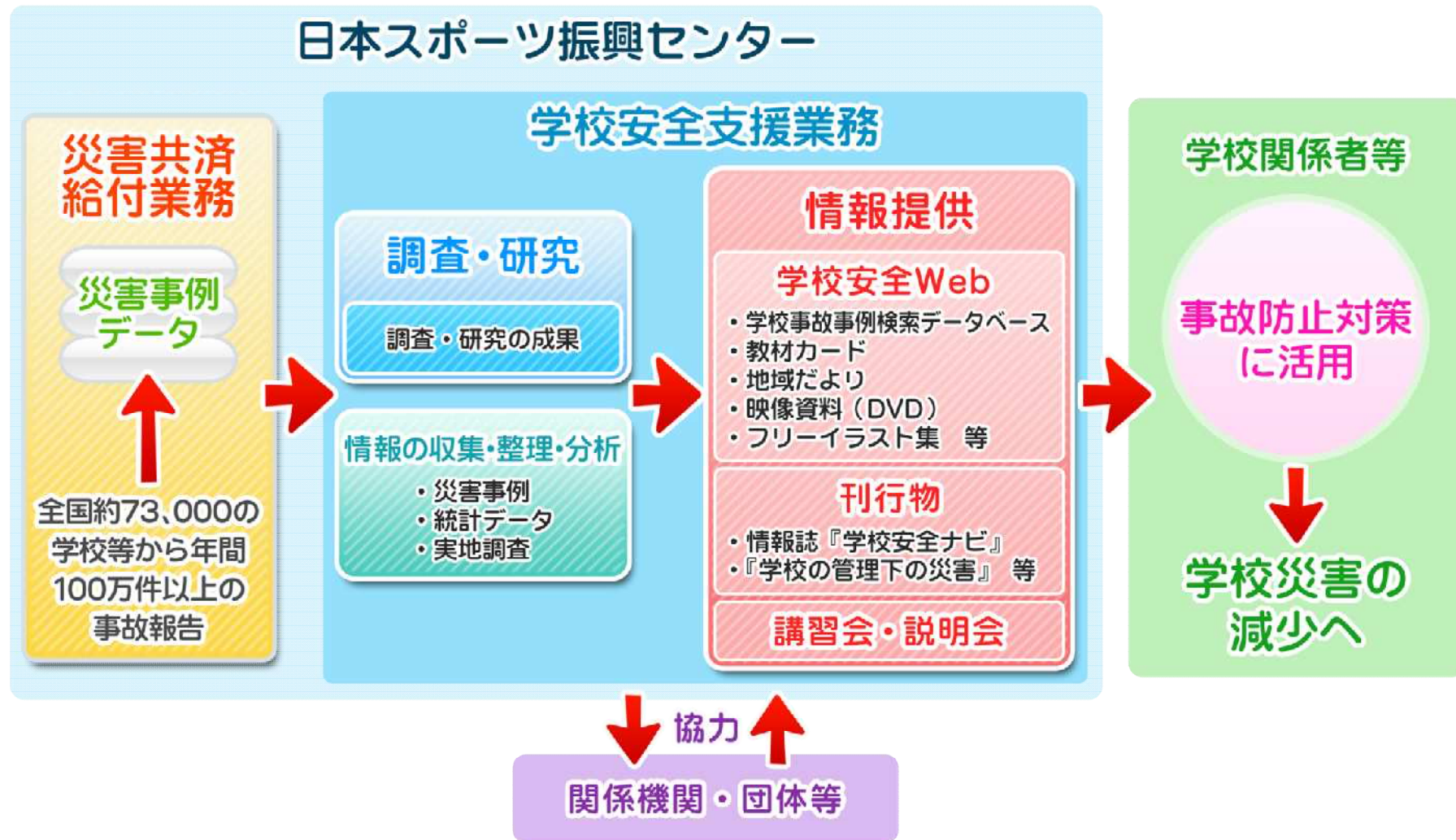
国立スポーツ科学
センター (JISS)



味の素フィールド西が丘

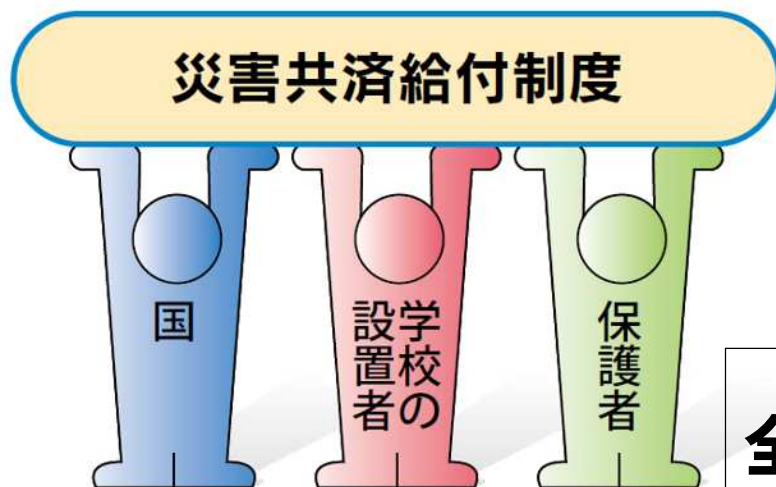


学校安全部 ～業務の紹介～



災害共済給付業務 ～制度概要と加入者数～

三者による互助共済制度



平成28年度 給付実績

全国の学校・保育所等（加入率95.7%）

加入者数	約1,683万人
発生件数	約105万件
給付金額	約185億円

【事故の傾向について】

※学校の管理下で発生した体育活動中（体育の授業、運動部活動、体育的行事等）における事故について分析

- ①分析の期間
- ②分析の対象

I 死亡・重障害（1級～3級）

- ①19年間（平成10年度～平成28年度）
- ②災害共済給付の死亡見舞金、障害見舞金のうち第1級～第3級を給付した事例792例（死亡599例、障害193例）

II 障害見舞金給付事故

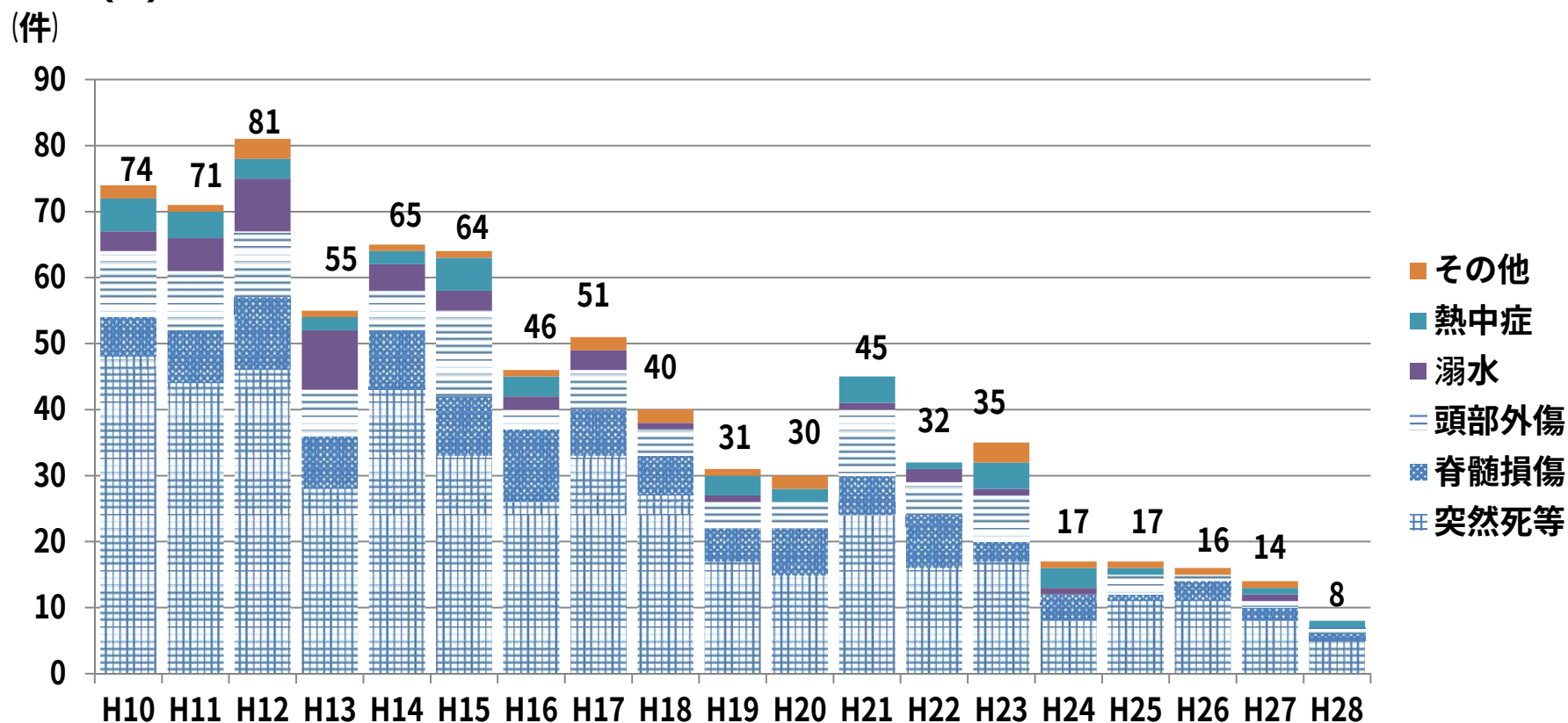
- ①10年間（平成19年度～平成28年度）
- ②災害共済給付の障害見舞金（第1級～第14級）を給付した事例1577例

III 負傷・疾病（医療費給付事例）

- ①3年間（平成25年度～平成27年度）
- ②災害共済給付の医療費を給付した事例を運動指導内容（実施種目）と運動部活動中における事故
※給付年度でカウントしている。
※Ⅰ、Ⅱは高等専門学校を除く。

I 死亡・重障害 (1級～3級)

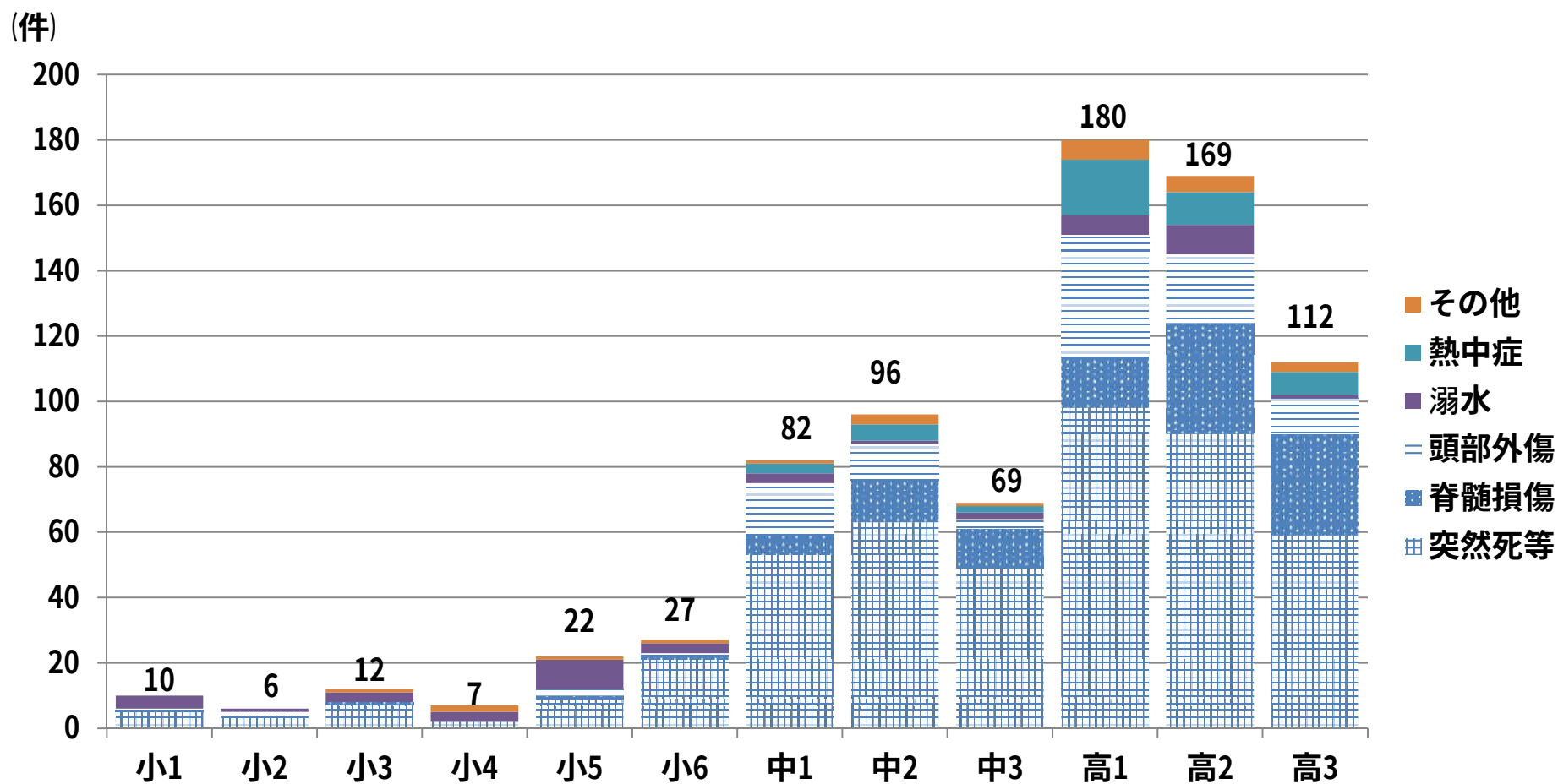
(1)傷病別・年度別



事故は減少傾向にあるが、依然として重大事故はなくなっていない。

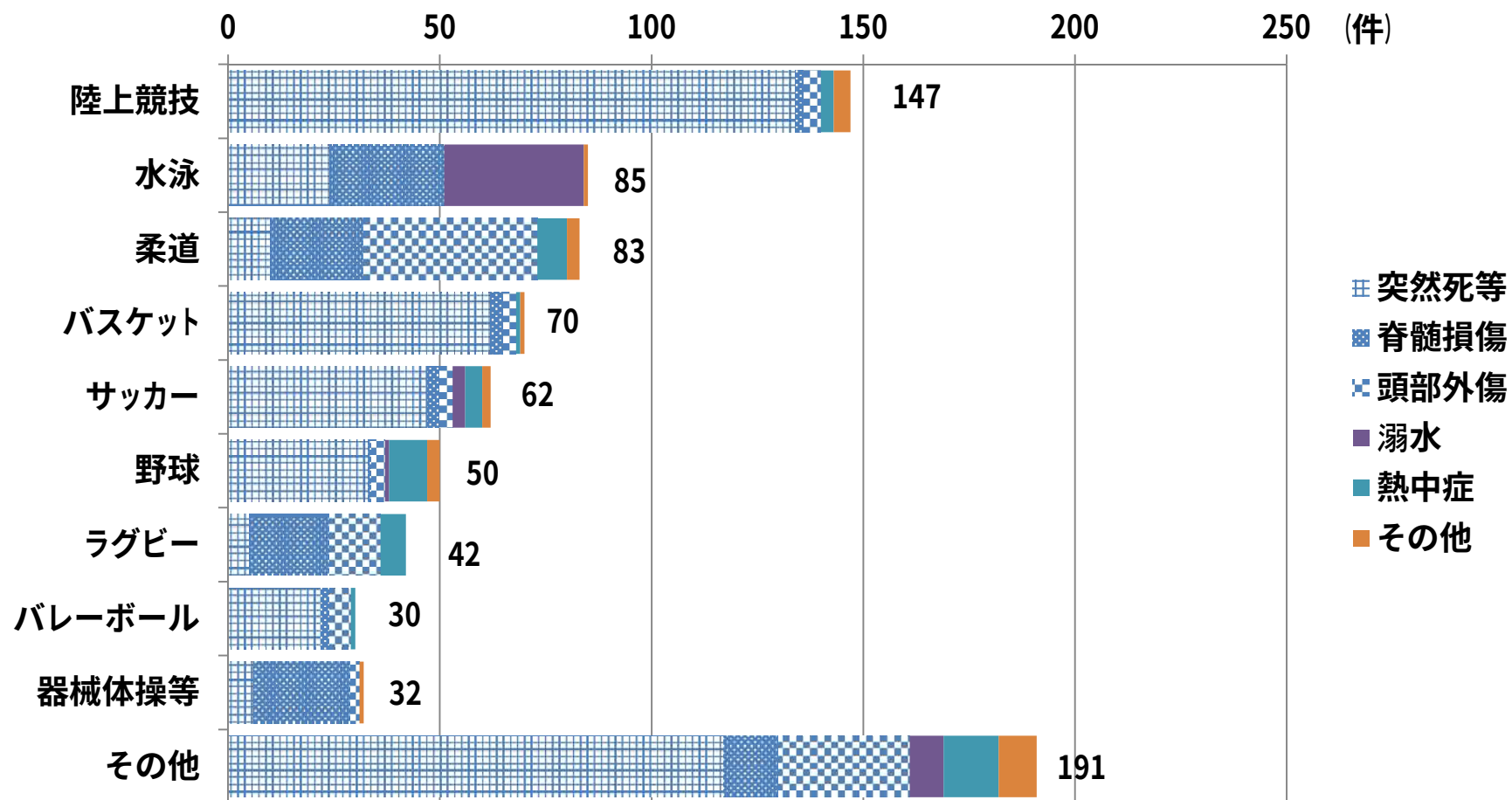
※死亡・重障害見舞金を給付した事故については給付年度ではなく、発生年度に遡ってカウントしているため、近年は少ない傾向となる。

(2)傷病別・学年別



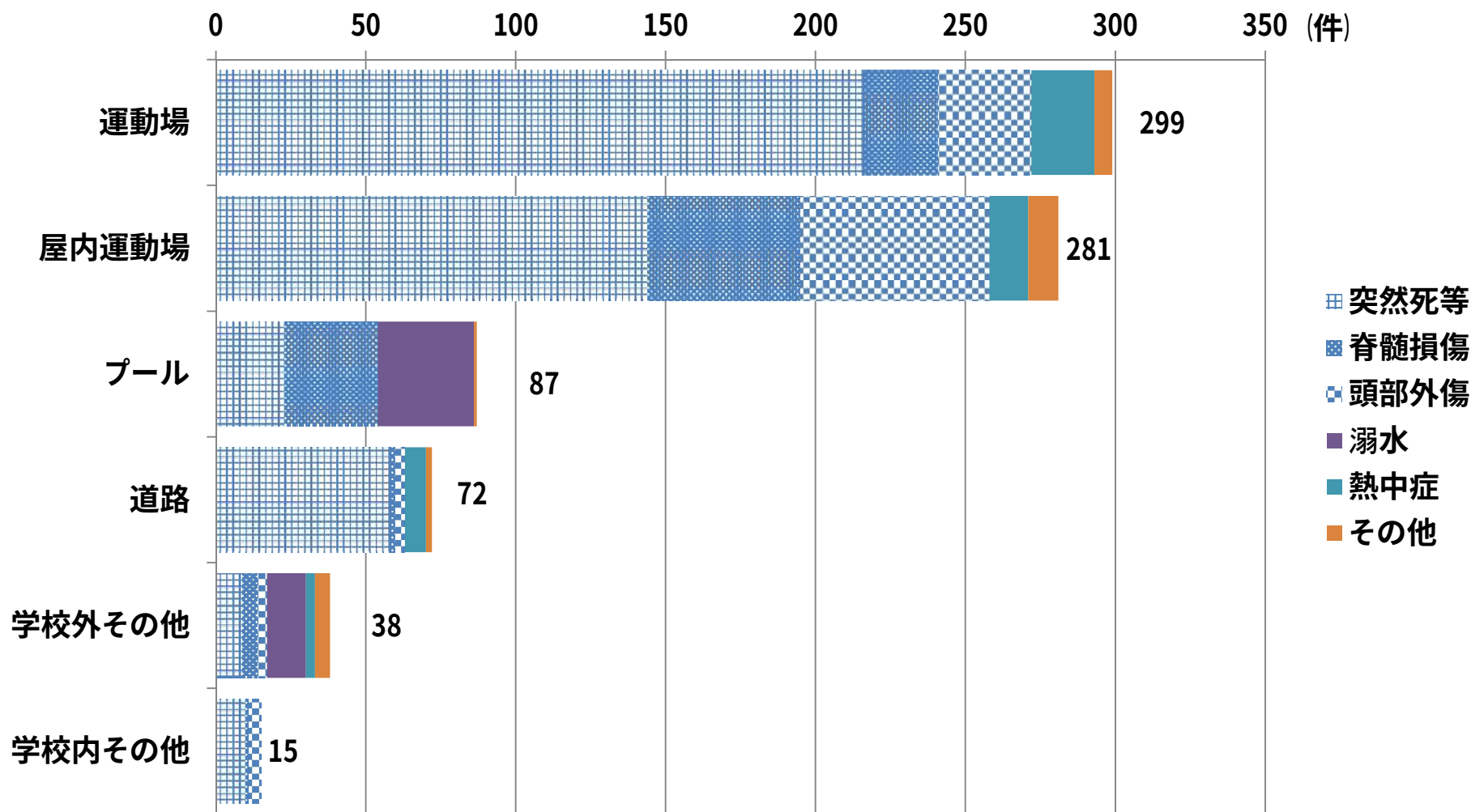
事故は中学校から増加し、高等学校の1年で最も多い。また、突然死は全学年で起きており、約6割を占めている。脊柱損傷は、高2、高3で、頭部外傷は高1が多い。

(3)競技別・傷病別



陸上競技・水泳・柔道の事故が多い。特に、陸上競技・バスケット・サッカーでの突然死が多く、柔道では頭部外傷が多い。

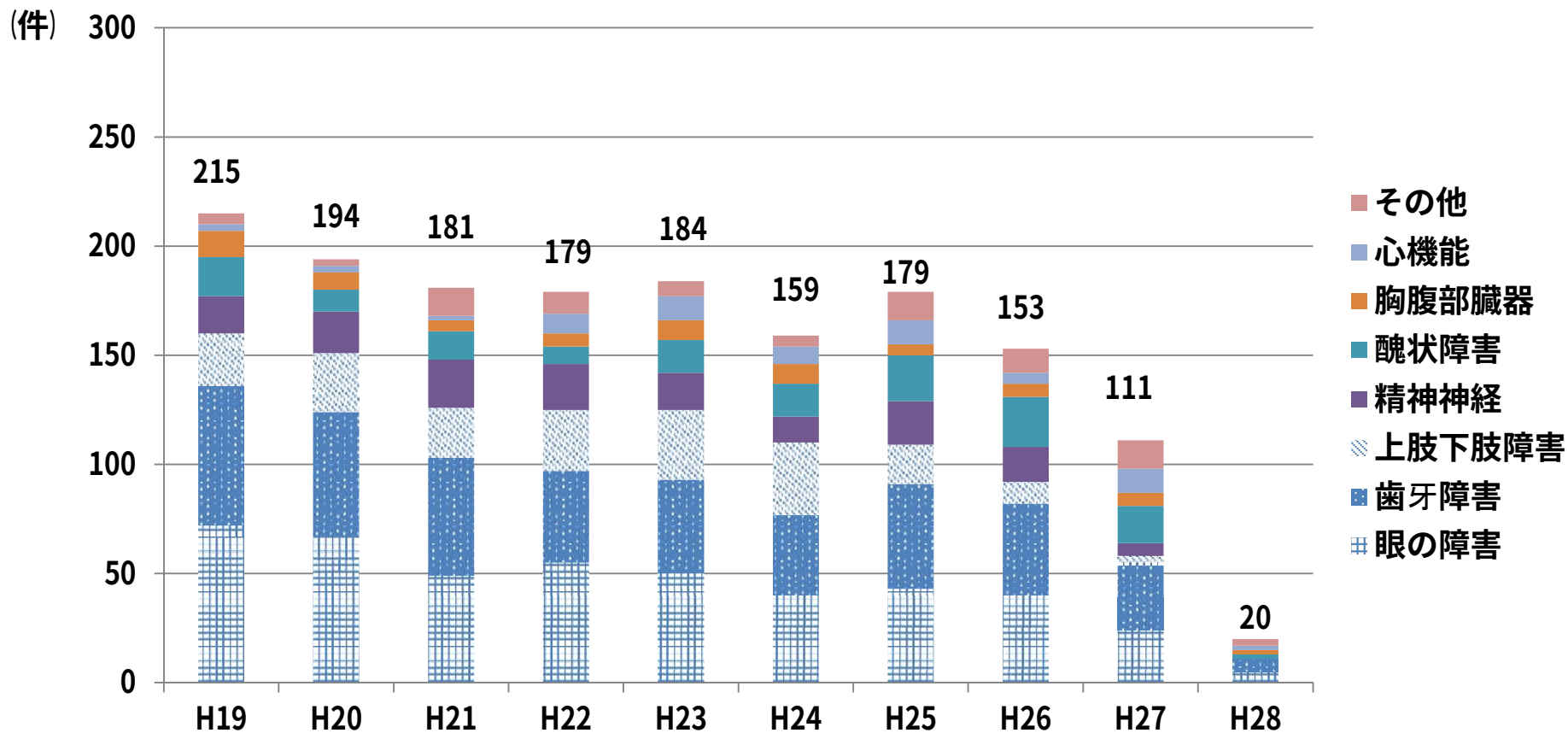
(4)発生場所別・傷病別



運動場・屋内運動場での事故が、全体の約3/4を占めている。

II.障害見舞金給付事故

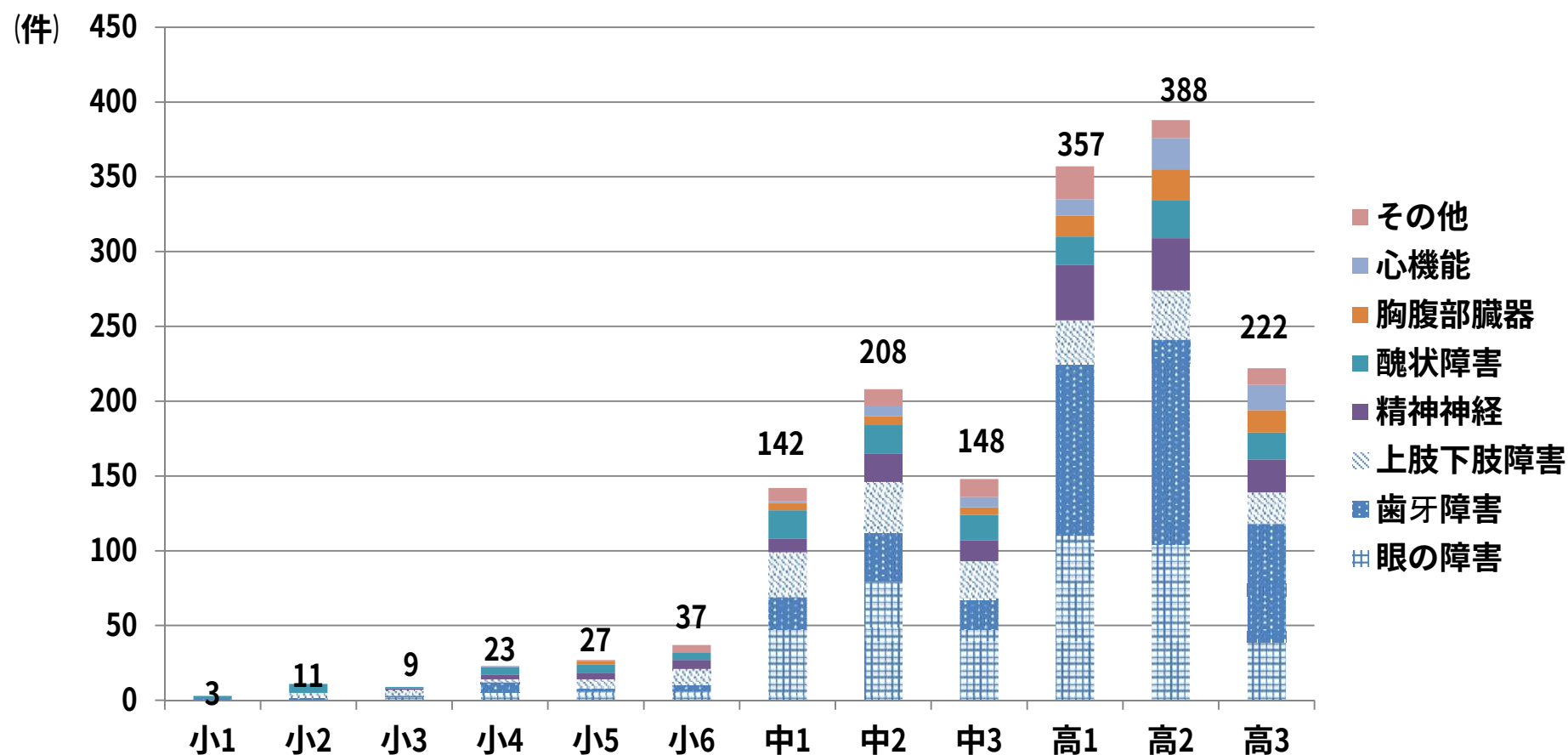
(1) 障害別・年度別推移



眼の障害、歯牙障害が依然として多い。

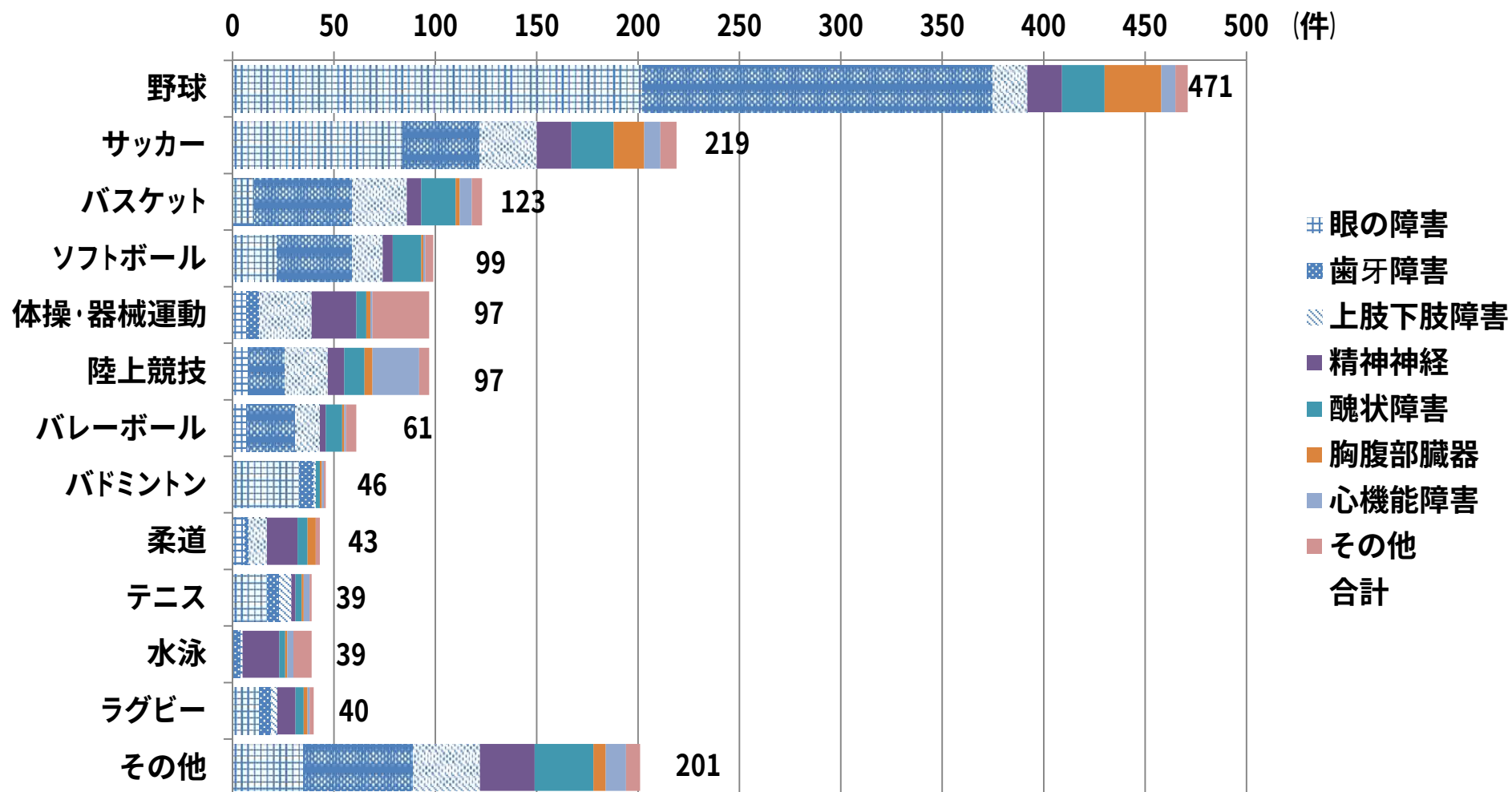
※障害見舞金を給付した事故については、給付年度ではなく、発生年度に遡ってカウントしているため、近年は少ない傾向となる。

(2)障害別・学年別



中学校では「眼の障害」が多く、ボールやシャトルが当たった、道具・設備等にぶつかる、当たる等により発生している。
 高等学校では「歯の障害」が多く、ボールが当たる、他者との接触等が発生している。

(3)競技別・障害別

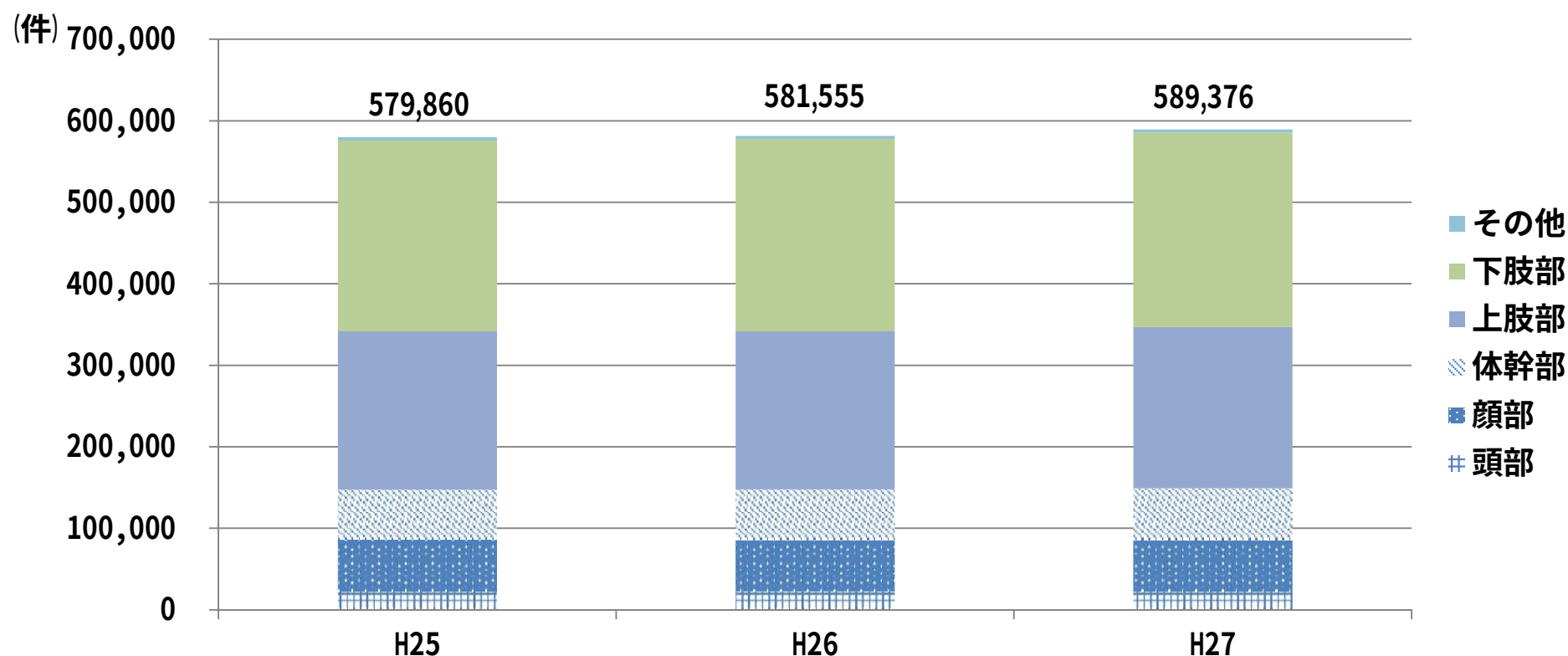


どの競技も眼の障害と歯牙障害が多く発生している。

III 負傷・疾病 (医療費給付事例) (H25年度～H27年度)

運動指導内容 (実施種目) 別

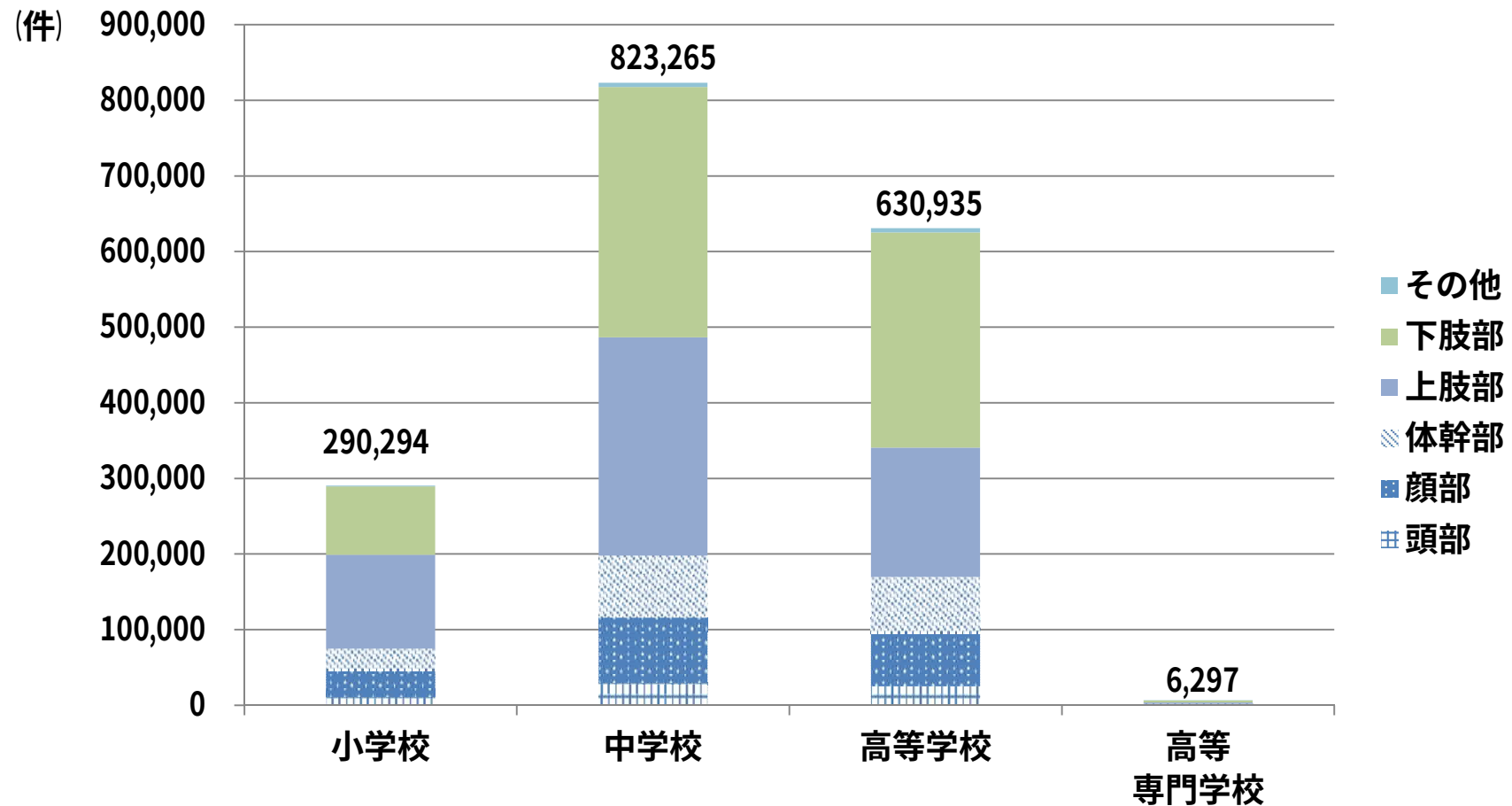
(1) 部位別・年度別



※参考: 顔部には、前額部、頬部、耳部などがある。
 体幹部には他に、頸部、肩部、胸部などがある。
 上肢部には他に、上腕部、肘部、前腕部などがある。
 下肢部には他に、大腿部・股関節、膝部、下腿部などがある。

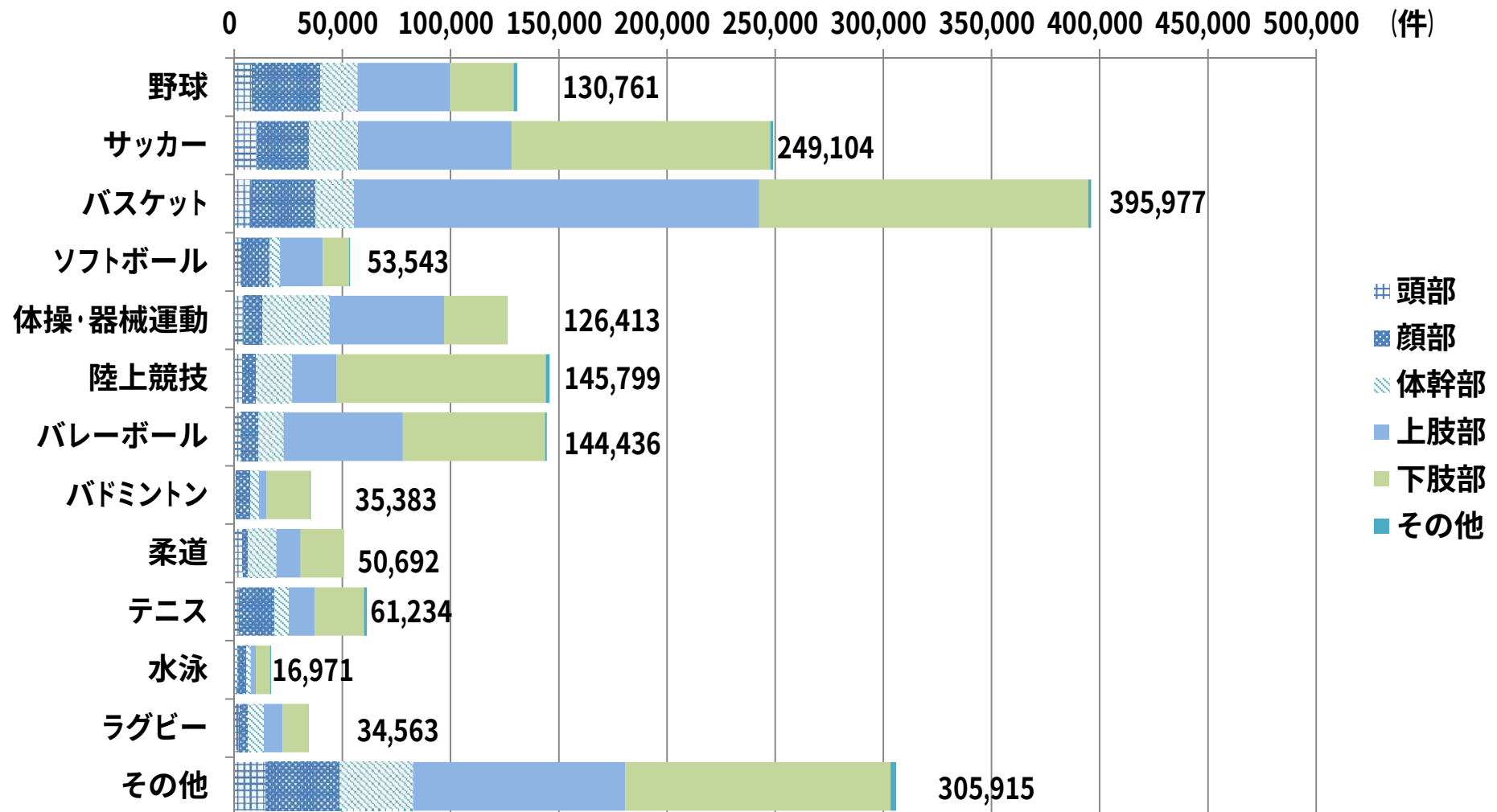
体育活動中の負傷・疾病は、各年度も上肢部・下肢部が多い。特に手・手指部のけがが多い。

(2) 部位別・学校種別



各学校種とも上肢部・下肢部のけがが多く、
特に手・手指部のけがが一番多く発生している。

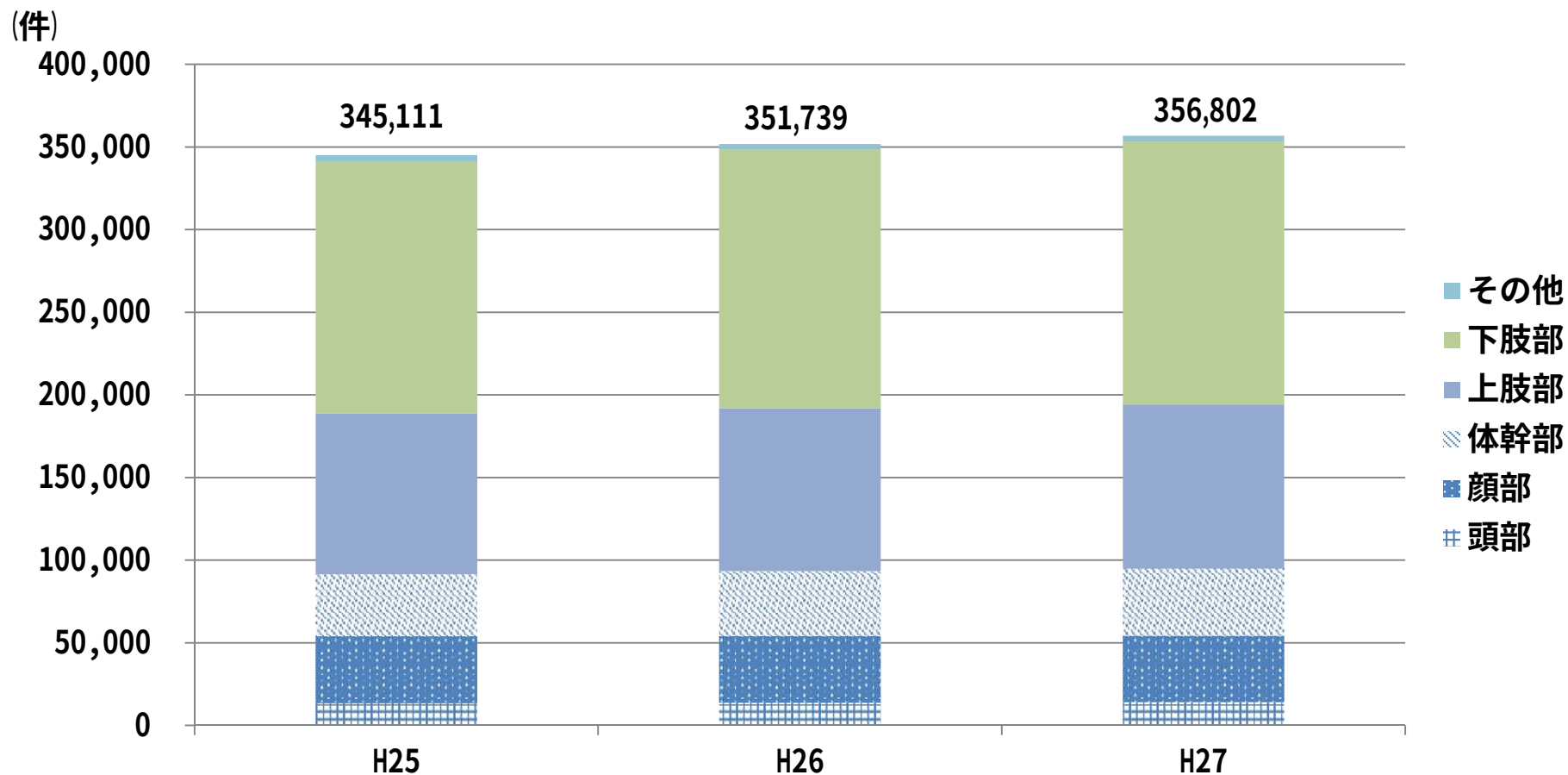
(3)部位別・競技別



バスケット、サッカー、陸上競技が多い。

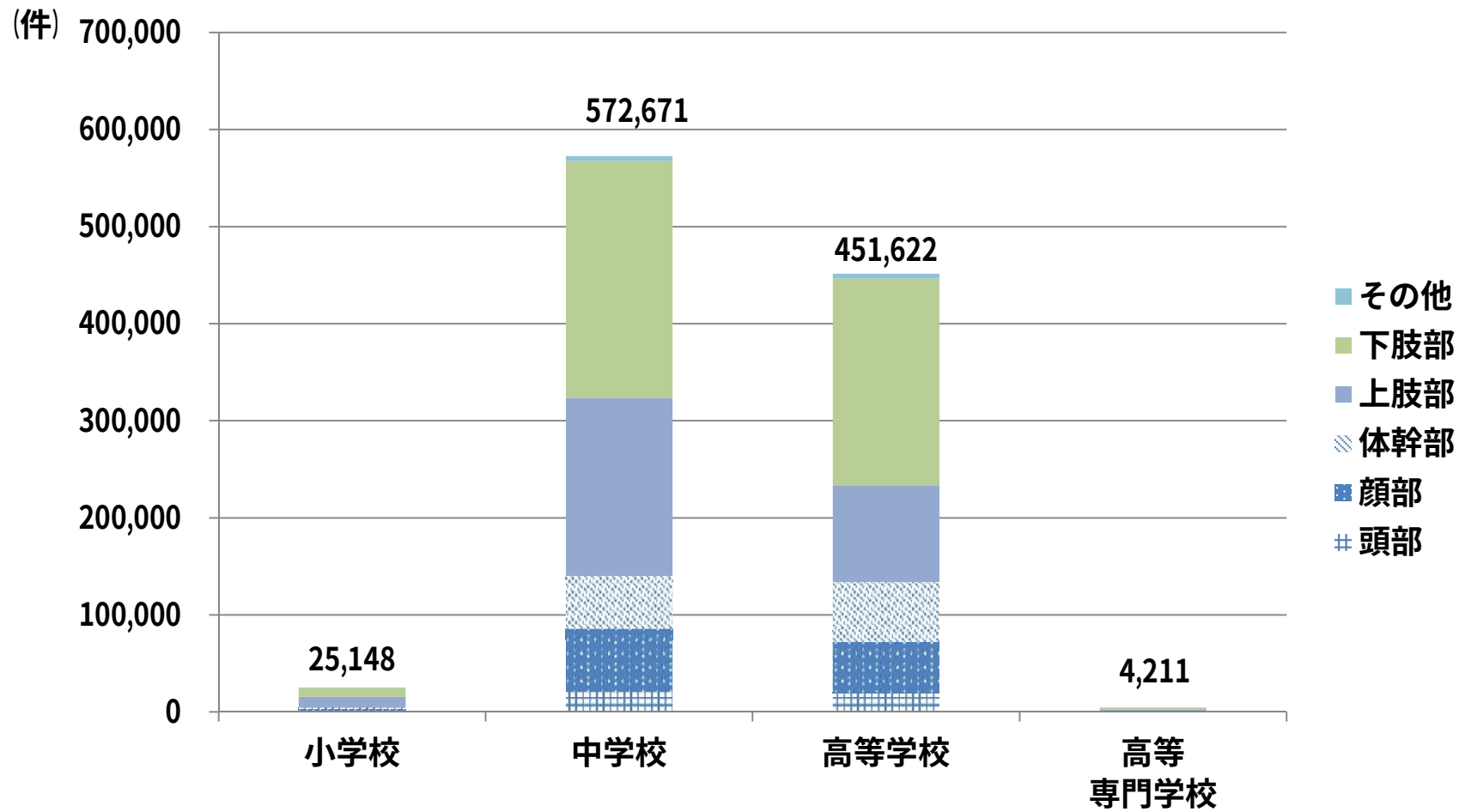
運動部活動別

(1) 部位別・年度別



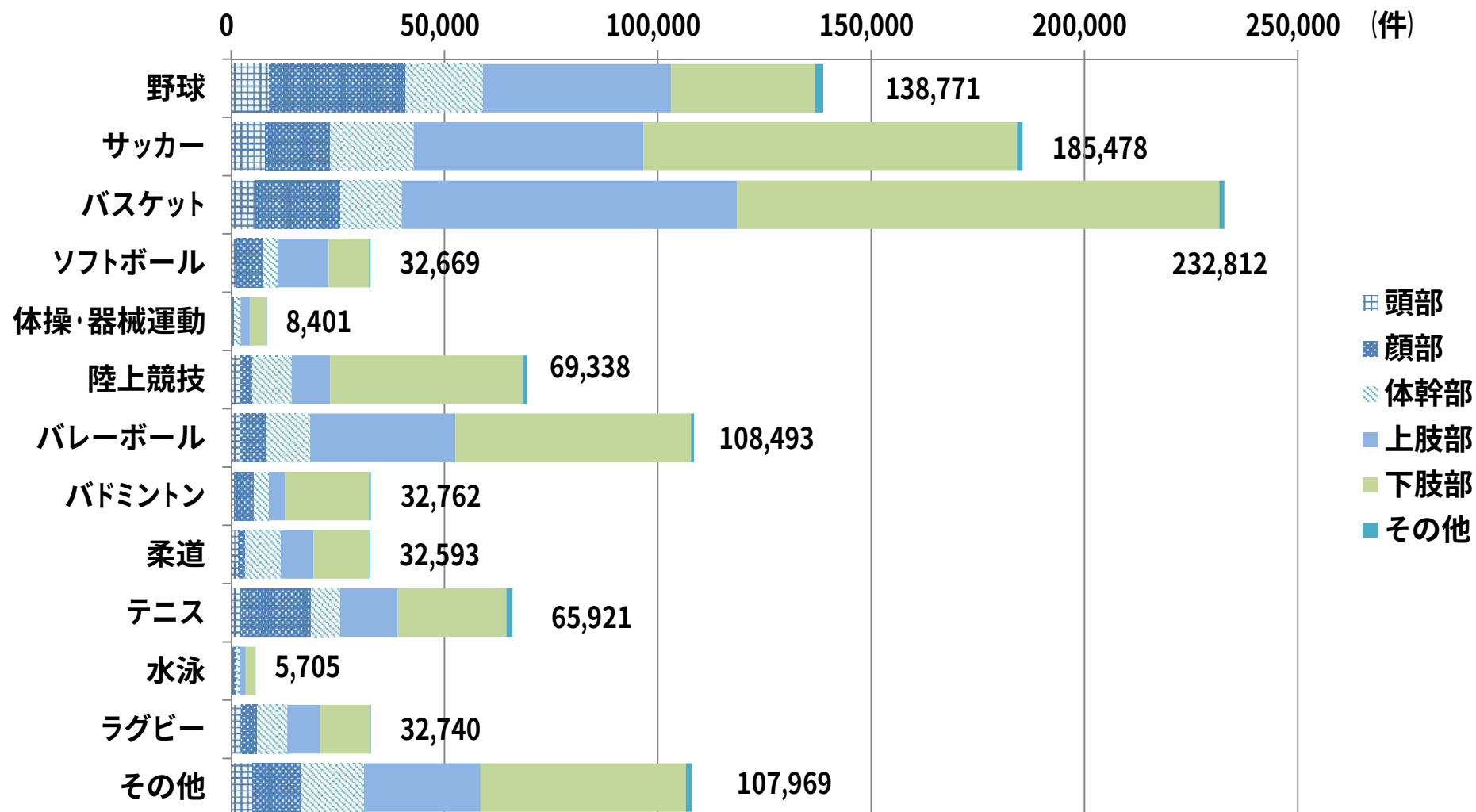
下肢部（特に足関節部）のけがが多い。

(2)部位別・学校種別



どの学校種も上肢部・下肢部のけがが多い。
特に中学校・高等学校では足関節部のけがが多い。

(3)部位別・競技別



バスケット・サッカー・野球が多い。

ご清聴ありがとうございました。

今後も学校における事故防止のための
取組を支援していきます。

